

平成19年度環境測定分析統一精度管理調査 結果説明会

20年度調査概要

平成20年7月 8日	岡山
平成20年7月15日	東京
平成20年7月22日	大阪
平成20年7月29日	札幌
平成20年8月 5日	福岡

調査対象

基本精度管理調査

- ・廃棄物溶出液試料(重金属類分析用)
…… 共通試料1

試料は、ばいじんの溶出液を硝酸酸性としたもの
調査対象は、カドミウム、鉛、砒素、カルシウムの4項目

水質試料として分析

調査対象

基本精度管理調査

- ・廃棄物(下水汚泥)試料(重金属類分析用)
……共通試料2

試料は、廃棄物(下水汚泥)を乾燥したもの
調査対象は、クロム、ほう素の2項目

調査対象

高等精度管理調査

- ・模擬水質試料(有機スズ化合物等分析用)
・・・共通試料3

有機スズ化合物2項目(TBT、TPT)

有機塩素化合物2項目(p,p'-DDE、p,p'-DDD)

追跡調査

高等精度管理調査:原則として、2か年の調査
前年度の結果を考慮(分析方法の限定等)して調査する

追跡調査の概要
<ul style="list-style-type: none">・昨年度よりも低濃度である・測定はガスクロマトグラフ質量分析法とする・共存物質を含めている

調査対象

高等精度管理調査

・廃棄物(ばいじん)試料(ダイオキシン類分析用)

……共通試料4

PCDDs及びPCDFs異性体:2,3,7,8-位塩素置換異性体(17異性体)

PCDDs及びPCDFs同族体

DL-PCB異性体:ノンオルト4項目、モノオルト8項目

TEQ(毒性当量):異性体の分析結果にTEF(毒性等価係数)を乗じて算出

TEFはWHO/IPCS(2006)による

調査対象

項目	主な選択理由
廃棄物溶出液試料 ：重金属類	<ul style="list-style-type: none">・多くは産業廃棄物に係る判定基準項目であり、基準値が設定されている。・多くの項目は「産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法」に規定されている。
廃棄物（下水汚泥）試料 ：重金属類	<ul style="list-style-type: none">・廃棄物の含有量として測定されることがある。
水質試料 ：有機スズ化合物 有機塩素化合物	<ul style="list-style-type: none">・昨年度調査結果を踏まえた追跡調査とする。・「外因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアル」に規定する項目である。・環境中からの検出頻度が大きい。
廃棄物（ばいじん）試料 ：ダイオキシン類	<ul style="list-style-type: none">・特別管理廃棄物に関する基準が設定されている。・「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法」に規定されている。

測定回数

基本精度管理調査と高等精度管理調査

基本精度管理調査

基準値、公的な分析方法等が規定されている測定項目に関する調査
原則として、測定回数3回(同量の試料を3個採り併行測定)

廃棄物溶出液試料(重金属類)

廃棄物(下水汚泥)試料(重金属類)

高等精度管理調査

基準値、公的な分析方法等が確立されていない(または規定されて間もない)または高度な分析技術を要する等測定項目に関する調査

測定回数は1～5回

複数回測定では、すべての結果を報告

結果として参加機関数は、基本精度管理調査 > 高等精度管理調査

分析方法

(1) 廃棄物溶出液試料(重金属類分析用)

分析方法	カドミウム 鉛	砒素	カルシウム
キレート滴定法			1
吸光光度法			
フレイム原子吸光法			1
電気加熱原子吸光法			
水素化物発生原子吸光法			
I C P 発光分光分析法			1
水素化物発生 I C P 発光分光分析法			
I C P 質量分析法		()	
イオンクロマトグラフ法			1

(注) : 産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法に定める方法

() 及び 1 : JIS K 0102 に定める方法

分析方法

(2) 廃棄物（下水汚泥）試料(重金属類分析用)

分析方法	クロム	ほう素
吸光光度法		
フレイム原子吸光法		
電気加熱原子吸光法		
I C P 発光分光分析法		
I C P 質量分析法		

(注) : 底質調査方法(昭和63年又は平成13年)に定める方法

分析方法

(3)水質試料（有機スズ化合物等分析用）

分析方法	有機スズ化合物	有機塩素化合物
溶媒抽出-誘導体化-ガスクロマトグラフ質量分析法	1	
溶媒抽出-誘導体化-ガスクロマトグラフ法 (FPD法)	1	
誘導体化-溶媒抽出-ガスクロマトグラフ質量分析法	2	
溶媒抽出-ガスクロマトグラフ質量分析法		1
固相抽出-ガスクロマトグラフ質量分析法		1

(注) 1: 外因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアルに規定する方法

ただし、今回の調査では、ガスクロマトグラフ法 (FPD法) は適用しない

追跡調査

2: 「要調査項目等調査マニュアル」に規定する方法

分析方法

(4)廃棄物(ばいじん)試料(ダイオキシン類)

分析方法	ダイオキシン類
溶媒抽出-ガスクロマトグラフィー質量分析法	

(注) : 特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法に規定する方法

分析結果の回答方法

ホームページに記入して作成

添付の

「ホームページによる分析結果報告書の作成方法」
を参照して作成（「確定」しない限り何度でも「修正」可能）

ホームページに記入が難しい場合

記入用紙に記入して作成

ホームページでは1つの結果を記入

分析者、分析方法、分析条件が異なった場合

→ 用紙で報告

分析結果の記入

単位を間違えない

記入間違いをしない

廃棄物(ばいじん)試料(ダイオキシン類分析用)の結果
抽出方法(公定法か否か)により報告書が異なる

提出書類等

分析結果報告書

チャート類

(原子吸光のチャート、GC/MSのSIMクロマトグラム等)

試料と標準液の両方

(ダイオキシン類については、ロックマスを含む)

検量線

分析フローシート

(「推奨方法」と異なる方法を用いた場合)

(注)すべての書類はホームページから送付可能

チャート類、検量線、分析フローシート

→ 「PDF」、「エクセル」、「ワード」、「一太郎」、「JPEG」等

として送付

ただし、「A4サイズ」

今後の予定(1)

参加機関の募集

現在募集中です(7月4日～8月4日)

募集に関しては、環境省報道発表資料(7月4日)に掲載しています
募集案内の詳細は、本調査専用のホームページに掲載しています

試料等の送付 9月上旬

今後の予定(2)

分析結果等の提出期限

- ・**廃棄物溶出液試料(重金属類)**
廃棄物(下水汚泥)試料(重金属類)
水質試料(有機スズ化合物、有機塩素化合物)
ホームページへ記入:平成20年10月24日(金)
用紙へ記入 :平成20年10月17日(金)(消印有効)
- ・**廃棄物(ばいじん)試料(ダイオキシン類)**
ホームページへ記入:平成20年11月17日(月)
用紙へ記入 :平成20年11月10日(月)(消印有効)

(注)分析結果報告書をホームページで作成した場合
チャート類、検量線等の提出期限は「ホームページへ記入」の期日

その他

- (1)各機関の分析結果を公表
(結果と機関名が対比できる表等を作成の上、公表)
- (2)一旦受領した報告
計算間違いや記入間違い等
→訂正の申し出があっても受け付けません
- (3)ホームページへ記入する場合と用紙へ記入する場合
報告書等の書類の提出期限が異なる(1週間の違いがある)
- (4)極端な分析結果を報告された場合
その原因究明のためのアンケート調査を実施
希望があれば、原因究明のための現地調査
- (5)ホームページへの本調査に関することや関連事項の掲載
例えば、7月4日「参加機関の募集案内を掲載」

その他

ホームページのアドレス

「<http://www.seidokanri.go.jp/index.html>」

アドレスは、2007年5月8日に変更